

# 美術コース 版画



講師  
みやち  
はるみ  
治美

## 略歴

### ソーラー版画家

スペイン・サンフェルナンド美術  
校卒業。1997年、米国国立クラ  
フトンヒル大学でソーラー版画開  
発チームに参加。カルフォルニア  
州マルチメディア展版画家部門  
で一席受賞。作詩「8月6日の水  
道」が米国国立図書館審査員特  
別賞を受賞。97年、広島市原爆  
慰霊祭で朗読され、広島市水道  
資料館に展示。2000年、広島県  
瀬戸内海の小島に移住し、ソーラ  
ー版画の制作と普及を開始。04年、  
NPO法人ソーラー版画協会設立。  
小中学校、公立中学校美術教諭  
研修会、広島工業大学など全国  
各地で普及活動を行う。

## advice points

- 会場は、水が使える美術教室な  
どが望ましい。
- 暗室が必要。
- 太陽光を利用するので、晴天が  
続く季節に実施するのが望ましい。

## より発展的な ワークショップを 実施するために

- 受け入れ科目を理科として、  
科学的に紫外線が版を腐  
蝕させる過程を学ぶ。
- 受け入れ科目を社会科と  
して、環境問題と合わせて学ぶ。

# 新技術でつくるソーラー版画

## 目的

- ・新エネルギー・新技術が生み出すアート創作を、五感を通じて体験する。

## 効果

- ・自然エネルギーの偉大さを知り、環境について考える。
- ・地域の伝統的な「紋」をデザインに取り入れ、郷土を愛する心を育む。

## 到達点

- ・一色刷りから多色刷りの作品をつくり、潜在的な創作能力を引き出す。



## 事前学習

版画の原画（地域の紋）をOHPに印画する。

## ワークショップの流れ（2日間×1コマ/日）

ソーラー版画の解説と、製作工程の説明

↓  
暗室で、ソーラープレートにOHPフィルム・ガラス板・  
光遮断板を重ね合わせる

↓  
屋外で、光遮断板を取り外して太陽光を3分間当て、  
再び光遮断板をかぶせ暗室へ

↓  
ソーラープレートを水で洗って乾かし、  
版画プレス機で1色刷りの作品製作

↓  
同じソーラープレートを使用して、多色刷りの作品製作

↓  
合評

## 事後学習

製作工程をエコロジーの面から復習する。

## …ワークショップを実施して…

### 講師の感想

生徒たちにとって初めて触れる教材なので、最初は戸惑いもあったが、1作ごとに能力と成果の向上が実感できたため熱中でき、1色刷りから多色刷りまで見事に製作できた。太陽光という自然エネルギーの偉大さを知り、そこから物を創り出す驚きを体験できた。生徒たちは、自身の潜在能力に驚き、自信をもったと思う。

### 先生の感想

生徒たちは楽しく受講していた。作品の結果がすぐ見えるので、前の作品の反省を生かして、次の作品にとりかかれる点が非常に良かった。1つの版があれば、いろんな配色パターンを考え、多様なバリエーションが生まれるので、試作を経て本作品を作り上げていく過程の楽しさを体感できた点も良かった。

### 生徒の感想

- ・1枚の版で何枚もの絵ができるのは知っていたが、今回は何色も使ってキレイにできたと、作っているうちに自分の味が出てきたので楽しかった。
- ・発想力と想像力がついた。自分もやればできると自信がついた。
- ・新しい知識が増えたが、もっと詳しく学びたいと思った。
- ・楽しいだけでなく環境にいいのなら、ソーラー版画がもっと広がればいいと思う。